



## 2022年8月期 決算短信(日本基準)(連結)

2022年10月14日

上場会社名 黒谷株式会社

上場取引所 東

コード番号 3168 URL <https://www.kurotani.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 黒谷 暁

問合せ先責任者 (役職名) 代表取締役副社長 (氏名) 井上 亮一

TEL 0766-84-0001

定時株主総会開催予定日 2022年11月25日

配当支払開始予定日

2022年11月28日

有価証券報告書提出予定日 2022年11月25日

決算補足説明資料作成の有無 : 有

決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

### 1. 2022年8月期の連結業績(2021年9月1日～2022年8月31日)

#### (1) 連結経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期	89,102	43.6	862	73.0	936	55.3	547	59.6
2021年8月期	62,058	45.2	3,197	394.3	2,096	273.3	1,353	257.9

(注) 包括利益 2022年8月期 768百万円 (42.2%) 2021年8月期 1,329百万円 (225.3%)

	1株当たり当期純利益	自己資本当期純利益率	総資産経常利益率	売上高営業利益率
	円 銭	%	%	%
2022年8月期	38.49	6.1	3.8	1.0
2021年8月期	95.42	16.7	10.4	5.2

(参考) 持分法投資損益 2022年8月期 0百万円 2021年8月期 28百万円

#### (2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
2022年8月期	25,725	9,218	35.8	648.06
2021年8月期	23,640	8,681	36.7	611.47

(参考) 自己資本 2022年8月期 9,218百万円 2021年8月期 8,681百万円

#### (3) 連結キャッシュ・フローの状況

	営業活動によるキャッシュ・フロー	投資活動によるキャッシュ・フロー	財務活動によるキャッシュ・フロー	現金及び現金同等物期末残高
	百万円	百万円	百万円	百万円
2022年8月期	2,068	343	1,666	770
2021年8月期	3,902	31	3,829	1,401

### 2. 配当の状況

	年間配当金					配当金総額 (合計)	配当性向 (連結)	純資産 配当率 (連結)
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計			
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	百万円	%	%
2021年8月期		7.50		7.50	15.00	212	15.7	2.4
2022年8月期		10.00		10.00	20.00	248	45.5	3.2
2023年8月期(予想)		10.00		10.00	20.00		39.5	

### 3. 2023年8月期の連結業績予想(2022年9月1日～2023年8月31日)

(%表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期(累計)	39,748	1.4	481	41.1	434	32.1	305	12.7	21.49
通期	83,158	6.7	1,124	30.4	1,029	9.9	720	31.7	50.68

注記事項

- (1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 無  
 新規 社 (社名) 、 除外 社 (社名)
- (2) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示  
 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 有  
 以外の会計方針の変更 : 無  
 会計上の見積りの変更 : 無  
 修正再表示 : 無

(3) 発行済株式数(普通株式)

期末発行済株式数(自己株式を含む)	2022年8月期	14,337,200 株	2021年8月期	14,337,200 株
期末自己株式数	2022年8月期	112,166 株	2021年8月期	139,866 株
期中平均株式数	2022年8月期	14,215,142 株	2021年8月期	14,187,990 株

(参考)個別業績の概要

2022年8月期の個別業績(2021年9月1日～2022年8月31日)

(1) 個別経営成績

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2022年8月期	89,102	43.6	854	73.3	928	55.2	543	59.0
2021年8月期	62,058	45.2	3,201	396.5	2,070	267.0	1,327	248.2

	1株当たり当期純利益
	円 銭
2022年8月期	38.24
2021年8月期	93.54

(2) 個別財政状態

	総資産		純資産		自己資本比率		1株当たり純資産	
	百万円		百万円		%		円 銭	
2022年8月期	25,095		9,062		36.1		637.06	
2021年8月期	23,149		8,611		37.2		606.58	

(参考) 自己資本 2022年8月期 9,062百万円 2021年8月期 8,611百万円

決算短信は公認会計士又は監査法人の監査の対象外です

業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は、様々な要因により上記予想値と異なる場合があります。

業績予想の前提条件等については、【添付資料】「1. 経営成績等の概況(4) 今後の見通し」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 経営成績等の概況 .....	2
(1) 当期の経営成績の概況 .....	2
(2) 当期の財政状態の概況 .....	2
(3) 当期のキャッシュ・フローの概況 .....	3
(4) 今後の見通し .....	4
2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方 .....	4
3. 連結財務諸表及び主な注記 .....	5
(1) 連結貸借対照表 .....	5
(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書 .....	7
連結損益計算書 .....	7
連結包括利益計算書 .....	8
(3) 連結株主資本等変動計算書 .....	9
(4) 連結キャッシュ・フロー計算書 .....	11
(5) 連結財務諸表に関する注記事項 .....	12
(継続企業の前提に関する注記) .....	12
(会計方針の変更) .....	12
(表示方法の変更) .....	12
(セグメント情報) .....	13
(1株当たり情報) .....	16
(重要な後発事象) .....	16
4. その他 .....	17
役員の異動 .....	17

## 1. 経営成績等の概況

### (1) 当期の経営成績の概況

当連結会計年度における当社グループを取り巻く外部環境は、期初より新型コロナウイルスワクチンの効果により経済は回復傾向にありましたが、第3四半期に入ってロシアのウクライナ軍事侵攻により想定以上にインフレが加速し、その抑制のために欧米が大幅な金利引き上げを実施したことで景気後退懸念が強まりました。

このような状況から、当社グループの主力取扱製品価格に影響を及ぼす銅価格は、高値圏で強含みに推移していたものの第3四半期以降、中国の不動産市況の悪化やゼロコロナ政策の影響、主要中央銀行の金融引き締め、ロシア制裁によるエネルギー価格の高騰等により急落し、ロンドン金属取引所銅3か月先物価格で2020年11月13日以来の安値(6,955ドル)をつけました。一方で期中平均円ベースCash価格では高値圏で推移していたこともあり前年度比25.8%高となりました。

また、販売数量はインゴットが堅調に推移し前年度比18.2%増加、スクラップは横ばいで推移したことにより全体では7.5%の増加となりました。

この結果、当連結会計年度の売上高は891億2百万円(前連結会計年度比43.6%増)、営業利益8億62百万円(同73.0%減)、経常利益9億36百万円(同55.3%減)、親会社株主に帰属する当期純利益は5億47百万円(同59.6%減)となりました。

セグメントの業績は次のとおりであります。

#### (非鉄金属事業)

非鉄金属事業の主力取扱製品に影響を与えるロンドン金属取引所銅期中平均円ベースCash価格が前年度比25.8%高く推移したことやインゴット、スクラップの販売量も前年度比7.5%増加したことから当連結会計年度の売上高は887億28百万円(前連結会計年度比43.8%増)となりました。

品目別では、インゴット売上高は275億63百万円(前連結会計年度比60.0%増)、スクラップ売上高は610億22百万円(同37.5%増)、その他売上高は1億42百万円(同9.3%増)となりました。

#### (美術工芸事業)

美術工芸事業は、コロナ禍から緩やかな回復基調は見られるものの完全回復には至らず、当連結会計年度の売上高は3億74百万円(前連結会計年度比11.9%増)となりました。

### (2) 当期の財政状態の概況

#### (資産)

当連結会計年度末における流動資産は224億89百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億70百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、現金及び預金が5億30百万円減少した一方で、売上債権が8億64百万円、前渡金が6億47百万円、未収消費税等が8億1百万円増加したことによるものであります。固定資産は32億35百万円となり、前連結会計年度末に比べ2億14百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、有形固定資産が1億51百万円増加したことによるものであります。

この結果、総資産は257億25百万円となり、前連結会計年度末に比べ20億84百万円増加いたしました。

#### (負債)

当連結会計年度末における流動負債は139億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億11百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、未払法人税等が7億51百万円減少した一方で、短期借入金が21億29百万円増加したことによるものであります。固定負債は25億44百万円となり、前連結会計年度末に比べ35百万円増加いたしました。

この結果、負債合計は165億6百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億47百万円増加いたしました。

#### (純資産)

当連結会計年度末における純資産合計は92億18百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億37百万円増加いたしました。その主な要因といたしましては、利益剰余金が2億98百万円、その他有価証券評価差額金が1億37百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は35.8%(前連結会計年度末は36.7%)となりました。

(3) 当期のキャッシュ・フローの概況

当連結会計年度における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は7億70百万円となり、前連結会計年度末に比べ6億30百万円減少いたしました。

当連結会計年度における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は次のとおりであります。

（営業活動によるキャッシュ・フロー）

営業活動の結果支出した資金は20億68百万円（前年は39億2百万円の支出）となりました。これは主に税金等調整前当期純利益8億45百万円、棚卸資産の減少2億9百万円などの収入に対し、売上債権の増加7億27百万円、前渡金の増加6億47百万円、未収消費税等の増加8億1百万円、法人税等の支払11億27百万円などの支出が発生したことによるものです。

（投資活動によるキャッシュ・フロー）

投資活動の結果支出した資金は3億43百万円（前年は31百万円の収入）となりました。これは主に定期預金の払戻による収入10億4百万円に対し、定期預金の預入による支出11億4百万円、有形固定資産の取得1億98百万円などの支出が発生したことによるものです。

（財務活動によるキャッシュ・フロー）

財務活動の結果獲得した資金は16億66百万円（前年は38億29百万円の収入）となりました。これは主に短期借入金の純増額19億円、長期借入金の借入15億円の収入に対し、長期借入金の返済14億84百万円、配当金の支払2億48百万円の支出が発生したことによるものです。

（参考）キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年 8月期	2019年 8月期	2020年 8月期	2021年 8月期	2022年 8月期
自己資本比率 (%)	44.2	41.2	45.1	36.7	35.8
時価ベースの 自己資本比率 (%)	44.8	34.2	41.6	51.3	33.3
キャッシュ・フロー対 有利子負債比率 (年)	—	—	4.9	—	—
インタレスト・ カバレッジ・レシオ (倍)	—	—	22.8	—	—

自己資本比率 : 自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率 : 株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率 : 有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ : キャッシュ・フロー／利払い

（注1）連結ベースの財務数値により計算しております。

（注2）株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。

（注3）有利子負債は連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を支払っているすべての負債を対象としております。

（注4）キャッシュ・フローは、営業活動によるキャッシュ・フローを利用しております。

（注5）2018年8月期、2019年8月期、2021年8月期及び2022年8月期のキャッシュ・フロー対有利子負債比率及びインタレスト・カバレッジ・レシオは、営業活動によるキャッシュ・フローがマイナスのため記載しておりません。

#### (4) 今後の見通し

今後の見通しにつきましては、各国主要中銀の強力なインフレ抑制策、ロシアのウクライナ侵攻によるエネルギー・穀物などの商品価格の高騰や中国のゼロコロナ政策など、経済の攪乱要因は多く先行き不透明感は依然残っています。

しかしながら、上記の要因も徐々に市場は織り込み始めておりその悪影響は緩やかながらも解消していくと思われまます。加えて永年の懸案事項であったオミクロン株など変異株の防疫と経済の両立が進展する中で世界経済の底割れはないと考えており、非鉄金属に関する需給についても緩やかながらも改善していくと考えております。

以上のことから業績の見通しの前提条件は下記を想定しております。

- a. 為替レート (TTM) : 130円
- b. 銅価格 : 8,200ドル
- c. ニッケル価格 : 23,000ドル
- d. 銅建値 : 1,114.20円/kg

以上の見通しを踏まえ、翌連結会計年度(2023年8月期)の連結業績見通しにつきましては、連結売上高は831億58百万円(前連結会計年度比6.7%減)、営業利益は11億24百万円(同30.4%増)、経常利益は10億29百万円(同9.9%増)、親会社株主に帰属する当期純利益は7億20百万円(同31.7%増)を予想しております。

当該予想は、現時点で得られた情報に基づいて算定しておりますが、多分に不確実な要素を含んでおります。従いまして、実際の業績は、業況の変化等により業績予想と乖離する結果になりうることをご承知おきください。

## 2. 会計基準の選択に関する基本的な考え方

当社グループは、連結財務諸表の期間比較可能性及び企業間の比較可能性を考慮し、当面、会計基準につきましては日本基準を適用する方針であります。

なお、IFRSの適用につきましては、国内外の諸情勢を考慮の上、適切に対応していく方針であります。

## 3. 連結財務諸表及び主な注記

## (1) 連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当連結会計年度 (2022年8月31日)
<b>資産の部</b>		
流動資産		
現金及び預金	1,806,016	1,275,348
受取手形及び売掛金	8,570,785	—
受取手形	—	126,753
売掛金	—	9,120,894
電子記録債権	1,247,148	1,435,121
商品及び製品	1,837,079	842,471
仕掛品	244,107	238,081
原材料及び貯蔵品	4,899,945	5,691,252
前渡金	1,150,816	1,798,050
未収消費税等	694,993	1,496,901
その他	168,194	464,396
流動資産合計	20,619,087	22,489,273
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物（純額）	344,027	352,807
機械装置及び運搬具（純額）	314,015	265,726
土地	1,521,121	1,521,121
その他（純額）	103,676	294,600
有形固定資産合計	2,282,840	2,434,255
無形固定資産		
ソフトウェア	30,245	49,595
その他	2,392	1,793
無形固定資産合計	32,638	51,388
投資その他の資産		
投資有価証券	576,611	708,575
繰延税金資産	117,624	30,970
その他	11,735	10,740
投資その他の資産合計	705,971	750,285
固定資産合計	3,021,451	3,235,930
資産合計	23,640,539	25,725,203

(単位：千円)

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当連結会計年度 (2022年8月31日)
<b>負債の部</b>		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,897,282	1,916,389
電子記録債務	256,712	297,759
短期借入金	7,779,200	9,909,040
1年内返済予定の長期借入金	1,314,976	1,300,012
未払金	311,013	418,974
未払法人税等	765,424	14,008
賞与引当金	56,739	21,719
その他	69,048	83,964
流動負債合計	12,450,396	13,961,866
固定負債		
長期借入金	2,388,020	2,418,412
退職給付に係る負債	120,853	126,289
固定負債合計	2,508,873	2,544,701
負債合計	14,959,269	16,506,568
<b>純資産の部</b>		
株主資本		
資本金	1,000,000	1,000,000
資本剰余金	690,564	695,198
利益剰余金	6,987,654	7,286,002
自己株式	△65,797	△52,672
株主資本合計	8,612,421	8,928,528
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△4,958	132,867
為替換算調整勘定	73,806	157,239
その他の包括利益累計額合計	68,847	290,106
純資産合計	8,681,269	9,218,635
負債純資産合計	23,640,539	25,725,203

(2) 連結損益計算書及び連結包括利益計算書  
(連結損益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
売上高	62,058,249	89,102,685
売上原価	57,481,454	86,529,557
売上総利益	4,576,794	2,573,128
販売費及び一般管理費	1,379,432	1,711,055
営業利益	3,197,362	862,073
営業外収益		
受取利息	53	64
受取配当金	8,860	11,250
為替差益	7,985	133,622
持分法による投資利益	28,988	122
受取保険金	281	5,409
デリバティブ運用益	—	57,591
その他	4,965	5,192
営業外収益合計	51,134	213,252
営業外費用		
支払利息	74,093	124,469
デリバティブ運用損	1,062,514	—
その他	15,809	14,359
営業外費用合計	1,152,417	138,828
経常利益	2,096,079	936,497
特別損失		
投資有価証券評価損	—	90,973
特別損失合計	—	90,973
税金等調整前当期純利益	2,096,079	845,523
法人税、住民税及び事業税	785,873	255,348
法人税等調整額	△43,554	43,094
法人税等合計	742,318	298,443
当期純利益	1,353,761	547,080
親会社株主に帰属する当期純利益	1,353,761	547,080

## (連結包括利益計算書)

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
当期純利益	1,353,761	547,080
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△27,345	137,825
為替換算調整勘定	6,256	57,465
持分法適用会社に対する持分相当額	△2,829	25,967
その他の包括利益合計	△23,917	221,258
包括利益	1,329,843	768,339
(内訳)		
親会社株主に係る包括利益	1,329,843	768,339
非支配株主に係る包括利益	—	—

(3) 連結株主資本等変動計算書

前連結会計年度(自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000,000	685,396	5,846,661	△78,329	7,453,728
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	—	—
会計方針の変更を反映した当期首残高	1,000,000	685,396	5,846,661	△78,329	7,453,728
当期変動額					
剰余金の配当			△212,768		△212,768
親会社株主に帰属する当期純利益			1,353,761		1,353,761
自己株式の取得				△68	△68
自己株式の処分		5,168		12,600	17,768
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)					
当期変動額合計	—	5,168	1,140,993	12,532	1,158,693
当期末残高	1,000,000	690,564	6,987,654	△65,797	8,612,421

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累計額合計	
当期首残高	22,386	70,378	92,765	7,546,494
会計方針の変更による累積的影響額	—	—	—	—
会計方針の変更を反映した当期首残高	22,386	70,378	92,765	7,546,494
当期変動額				
剰余金の配当				△212,768
親会社株主に帰属する当期純利益				1,353,761
自己株式の取得				△68
自己株式の処分				17,768
株主資本以外の項目の当期変動額(純額)	△27,345	3,427	△23,917	△23,917
当期変動額合計	△27,345	3,427	△23,917	1,134,775
当期末残高	△4,958	73,806	68,847	8,681,269

当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

(単位:千円)

	株主資本				
	資本金	資本剰余金	利益剰余金	自己株式	株主資本合計
当期首残高	1,000,000	690,564	6,987,654	△65,797	8,612,421
会計方針の変更による 累積的影響額	—	—	—	—	—
会計方針の変更を反映し た当期首残高	1,000,000	690,564	6,987,654	△65,797	8,612,421
当期変動額					
剰余金の配当			△248,732		△248,732
親会社株主に帰属する 当期純利益			547,080		547,080
自己株式の処分		4,633		13,124	17,758
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)					
当期変動額合計	—	4,633	298,347	13,124	316,106
当期末残高	1,000,000	695,198	7,286,002	△52,672	8,928,528

	その他の包括利益累計額			純資産合計
	その他有価証券評価 差額金	為替換算調整勘定	その他の包括利益累 計額合計	
当期首残高	△4,958	73,806	68,847	8,681,269
会計方針の変更による 累積的影響額	—	—	—	—
会計方針の変更を反映し た当期首残高	△4,958	73,806	68,847	8,681,269
当期変動額				
剰余金の配当				△248,732
親会社株主に帰属する 当期純利益				547,080
自己株式の処分				17,758
株主資本以外の項目の 当期変動額 (純額)	137,825	83,433	221,258	221,258
当期変動額合計	137,825	83,433	221,258	537,365
当期末残高	132,867	157,239	290,106	9,218,635

## (4) 連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
<b>営業活動によるキャッシュ・フロー</b>		
税金等調整前当期純利益	2,096,079	845,523
減価償却費	183,534	180,493
受取利息及び受取配当金	△8,914	△11,314
支払利息	74,093	124,469
為替差損益 (△は益)	24,600	128,218
持分法による投資損益 (△は益)	△28,988	△122
投資有価証券評価損益 (△は益)	—	90,973
売上債権の増減額 (△は増加)	△4,560,476	△727,783
棚卸資産の増減額 (△は増加)	△2,198,541	209,326
仕入債務の増減額 (△は減少)	1,084,866	△32,527
前渡金の増減額 (△は増加)	△362,747	△647,234
未収消費税等の増減額 (△は増加)	44,151	△801,907
その他	△29,953	△184,633
小計	△3,682,294	△826,519
利息及び配当金の受取額	8,933	11,312
利息の支払額	△77,116	△125,860
法人税等の支払額	△152,299	△1,127,015
営業活動によるキャッシュ・フロー	△3,902,776	△2,068,083
<b>投資活動によるキャッシュ・フロー</b>		
定期預金の預入による支出	△1,063,915	△1,104,432
定期預金の払戻による収入	1,316,214	1,004,427
有形固定資産の取得による支出	△184,844	△198,847
無形固定資産の取得による支出	△24,653	△29,403
投資有価証券の取得による支出	△11,405	△15,461
その他	△56	134
投資活動によるキャッシュ・フロー	31,340	△343,581
<b>財務活動によるキャッシュ・フロー</b>		
短期借入金の純増減額 (△は減少)	3,450,000	1,900,000
長期借入れによる収入	2,000,000	1,500,000
長期借入金の返済による支出	△1,407,942	△1,484,572
自己株式の取得による支出	△68	—
配当金の支払額	△212,946	△248,731
財務活動によるキャッシュ・フロー	3,829,042	1,666,696
現金及び現金同等物に係る換算差額	10,409	114,032
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△31,984	△630,935
現金及び現金同等物の期首残高	1,433,274	1,401,290
現金及び現金同等物の期末残高	1,401,290	770,354

## (5) 連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

## (会計方針の変更)

(収益認識に関する会計基準等の適用)

「収益認識に関する会計基準」(企業会計基準第29号 2020年3月31日。以下「収益認識会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、約束した財又はサービスの支配が顧客に移転した時点で、当該財又はサービスと交換に受け取ると見込まれる金額で収益を認識することとしております。

収益認識会計基準等の適用については、収益認識会計基準第84項ただし書きに定める経過的な取扱いに従っておりますが、当該会計基準等の適用による、当連結会計年度の損益及び利益剰余金の期首残高に与える影響はありません。

なお、収益認識会計基準第89-3項に定める経過的な取扱いに従って、前連結会計年度に係る「収益認識関係」注記については記載していません。

(時価の算定に関する会計基準等の適用)

「時価の算定に関する会計基準」(企業会計基準第30号 2019年7月4日。以下「時価算定会計基準」という。)等を当連結会計年度の期首から適用し、時価算定会計基準第19項及び「金融商品に関する会計基準」

(企業会計基準第10号 2019年7月4日)第44-2項に定める経過的な取扱いに従って、時価算定会計基準等が定める新たな会計方針を、将来にわたって適用することとしております。なお、連結財務諸表に与える影響はありません。

また、「金融商品関係」注記において、金融商品の時価のレベルごとの内訳等に関する事項等の注記を行うこととしました。ただし、「金融商品の時価等の開示に関する適用指針」(企業会計基準適用指針第19号 2019年7月4日)第7-4項に定める経過的な取扱いに従って、当該注記のうち前連結会計年度に係るものについては記載していません。

## (表示方法の変更)

(連結キャッシュ・フロー計算書)

前連結会計年度において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に含めていた「未収消費税等の増減額」は、金額的重要性が増したため、当連結会計年度より独立掲記することとしました。この表示方法の変更を反映させるため、前連結会計年度の連結財務諸表の組替えを行っております。

この結果、前連結会計年度の連結キャッシュ・フロー計算書において、「営業活動によるキャッシュ・フロー」の「その他」に表示していた14,198千円は、「未収消費税等の増減額」44,151千円、「その他」△29,953千円として組み替えております。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

1. 報告セグメントの概要

当社グループの報告セグメントは、当社グループの構成単位のうち分離された財務情報が入手可能であり、取締役会が、経営資源の配分の決定及び業績を評価するために、定期的に検討を行う対象となっているものであります。

当社グループは、インゴットの製造・販売及びスクラップの加工・販売を行う非鉄金属事業と美術工芸品の製造・販売を行う美術工芸事業の2つの事業を行っております。

2. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額の算定方法

報告されている事業セグメントの会計処理の方法は、「連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項」における記載と概ね同一であります。

報告セグメントの利益は、営業利益ベースの数値であります。

セグメント間の内部収益及び振替高は市場実勢価格に基づいております。

3. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失、資産、負債その他の項目の金額に関する情報

前連結会計年度（自 2020年9月1日 至 2021年8月31日）

(単位：千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	非鉄金属	美術工芸	計		
売上高					
外部顧客への売上高	61,723,713	334,535	62,058,249	—	62,058,249
セグメント間の内部売上高又は振替高	—	529	529	△529	—
計	61,723,713	335,064	62,058,778	△529	62,058,249
セグメント利益又は損失(△)	3,219,897	△22,535	3,197,362	—	3,197,362
セグメント資産	19,654,682	1,042,355	20,697,038	2,943,500	23,640,539
その他の項目					
減価償却費	169,530	14,004	183,534	—	183,534
持分法適用会社への投資額	217,776	—	217,776	—	217,776
有形固定資産及び無形固定資産の増加額	124,519	15,513	140,032	—	140,032

(注) 1. セグメント資産の調整額2,943,500千円は、報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に現金及び預金、投資有価証券等の本社部門に係る資産であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)

(単位: 千円)

	報告セグメント			調整額 (注) 1	連結財務諸 表計上額 (注) 2
	非鉄金属	美術工芸	計		
売上高					
顧客との契約から生じる収益	88,728,438	374,247	89,102,685	—	89,102,685
その他の収益	—	—	—	—	—
外部顧客への売上高	88,728,438	374,247	89,102,685	—	89,102,685
セグメント間の内部売上高又 は振替高	—	—	—	—	—
計	88,728,438	374,247	89,102,685	—	89,102,685
セグメント利益又は損失 (△)	864,342	△2,269	862,073	—	862,073
セグメント資産	21,230,042	1,061,723	22,291,766	3,433,436	25,725,203
その他の項目					
減価償却費	165,146	15,347	180,493	—	180,493
持分法適用会社への投資額	243,867	—	243,867	—	243,867
有形固定資産及び無形固定資 産の増加額	348,134	4,313	352,448	—	352,448

(注) 1. セグメント資産の調整額3,433,436千円は、報告セグメントに配分していない全社資産であり、主に現金及び預金、投資有価証券等の本社部門に係る資産であります。

2. セグメント利益又は損失の合計額は、連結損益計算書の営業利益と一致しております。

## 【関連情報】

前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位: 千円)

	インゴット	スクラップ	美術工芸品	その他	合計
外部顧客への売上高	17,226,525	44,366,671	334,535	130,516	62,058,249

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位: 千円)

日本	韓国	その他アジア	ヨーロッパ	その他	合計
52,435,697	4,058,878	4,436,986	974,673	152,013	62,058,249

(注) 売上高は、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位: 千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
住友金属鉱山株式会社	14,164,512	非鉄金属事業

当連結会計年度（自 2021年9月1日 至 2022年8月31日）

## 1. 製品及びサービスごとの情報

(単位：千円)

	インゴット	スクラップ	美術工芸品	その他	合計
外部顧客への売上高	27,563,118	61,022,655	374,247	142,663	89,102,685

## 2. 地域ごとの情報

## (1) 売上高

(単位：千円)

日本	韓国	その他アジア	ヨーロッパ	その他	合計
70,880,018	7,956,562	8,344,291	1,754,103	167,710	89,102,685

(注) 売上高は、顧客の所在地を基礎とし、国又は地域に分類しております。

## (2) 有形固定資産

本邦に所在している有形固定資産の金額が連結貸借対照表の有形固定資産の金額の90%を超えるため、記載を省略しております。

## 3. 主要な顧客ごとの情報

(単位：千円)

顧客の名称又は氏名	売上高	関連するセグメント名
住友金属鉱山株式会社	16,649,926	非鉄金属事業

## 【報告セグメントごとの固定資産の減損損失に関する情報】

前連結会計年度（自 2020年9月1日 至 2021年8月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2021年9月1日 至 2022年8月31日）

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとののれんの償却額及び未償却残高に関する情報】

前連結会計年度（自 2020年9月1日 至 2021年8月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2021年9月1日 至 2022年8月31日）

該当事項はありません。

## 【報告セグメントごとの負ののれん発生益に関する情報】

前連結会計年度（自 2020年9月1日 至 2021年8月31日）

該当事項はありません。

当連結会計年度（自 2021年9月1日 至 2022年8月31日）

該当事項はありません。

## (1株当たり情報)

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
1株当たり純資産額	611.47円	648.06円
1株当たり当期純利益	95.42円	38.49円

(注) 1. 潜在株式調整後1株当たり当期純利益については、潜在株式が存在しないため記載しておりません。

2. 1株当たり純資産額の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (2021年8月31日)	当連結会計年度 (2022年8月31日)
純資産の部の合計額(千円)	8,681,269	9,218,635
純資産の部の合計額から控除する金額(千円)	—	—
普通株式に係る期末の純資産額(千円)	8,681,269	9,218,635
1株当たり純資産額の算定に用いられた期末の普通株式の数(株)	14,197,334	14,225,034

3. 1株当たり当期純利益の算定上の基礎は、以下のとおりであります。

	前連結会計年度 (自 2020年9月1日 至 2021年8月31日)	当連結会計年度 (自 2021年9月1日 至 2022年8月31日)
親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,353,761	547,080
普通株主に帰属しない金額(千円)	—	—
普通株式に係る親会社株主に帰属する当期純利益(千円)	1,353,761	547,080
普通株式の期中平均株式数(株)	14,187,990	14,215,142

## (重要な後発事象)

該当事項はありません。

#### 4. その他

##### 役員の変動

- ① 代表取締役の変動
  - ・退任予定代表取締役 井上 亮一 (現 代表取締役副社長)
- ② その他役員の変動
  - ・新任取締役候補  
取締役 杉本 護 (現 経営企画部長)
  - ・退任予定取締役  
取締役 井上 亮一
- ③ 就任及び退任予定日  
2022年11月25日